

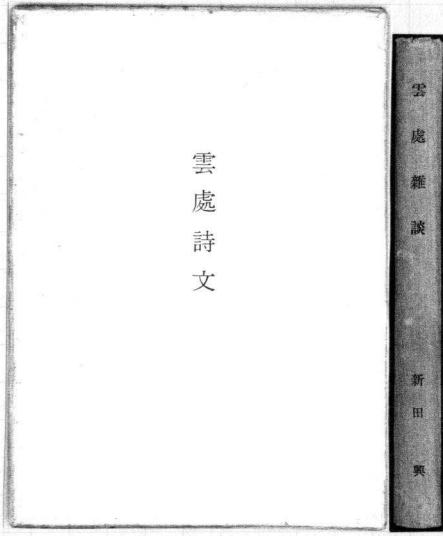
新田雲處

ひづる

漢學者。明治二十四年（一九〇一）一月五日鳥取縣東伯郡中北條

村生れ、昭和五十一年五月十七日歿（一八九一—一九七七）。講興、字士美、幼名美吉男。少時正岡子規の私塾研志堂に入り、十七歳にして塾師代講を務めた。二十五歳の折上京、父の緣故で木堂大義綱の門を叩き、爾來木堂在世中のその指導を受けた。漢學振興に盡瘁、自らは三教（神儒佛）二學（和漢洋）の兼修を指標とした。國學院大學、國立師範大學等の教授を歴任。

著書に『周易講義』、『精解漢和辭典』等の他、『雲處雜談』（昭和二十八年一月一日新田大作刊、不二歌道舖）、『雲處詩文』（昭和四十一年一月、一十五日私家版）がある。



雲處詩文